

【学力向上フロンティアスクール用中間報告書様式】(中学校用)

都道府県名	神奈川県
-------	------

学校の概要(平成15年4月現在)

学校名	大和市立引地台中学校					
学 年	1年	2年	3年	特殊学級	計	教員数
学級数	7	6	7	1	21	36
生徒数	276	226	250	4	756	

研究の概要

1. 研究主題

<p>「学力向上」をめざして</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・意欲を高めあう学習集団の育成</li> <li>・指導方法、指導体制の工夫と改善</li> </ul>
--

2. 研究内容と方法

(1) 実施学年・教科

<ul style="list-style-type: none"> <li>・1年生 数学 積み重ねが重要であり、生徒の理解に差が出やすい教科、学年であるため。</li> <li>・2年生 美術 現在の美術科の職員2名が所属していない学年なので、2名で共同して指導を行い、作品制作に当たって個別の創意工夫を支援する研究を進めるため。</li> </ul>
--

(2) 年次ごとの計画

平成15年度	<p>テーマ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・意欲を高めるための教科内での工夫</li> <li>・意欲を高めるための学級での取り組みの工夫</li> <li>・生徒の実態把握</li> </ul> <p>研究の見通し</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各教科における学力観を整理し、意欲向上のための工夫をする。</li> <li>・意欲向上のため、学級指導における指導方法、指導体制を工夫する。</li> <li>・生徒の実態を把握し、今後の方向性を明らかにする。</li> </ul> <p>研究の内容・方法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・美術科の授業、数学科のT.T.授業と少人数指導の実践</li> <li>・各教科の授業実践、教科の指導方法の工夫、改善</li> <li>・学級指導の工夫、改善</li> <li>・アンケート調査の実施と分析</li> </ul>
--------	---

平成16年度	<p>テーマ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・T.T.授業、少人数指導の実践的研究</li> <li>・意欲向上のための教科指導の実践</li> <li>・学級での取り組みの具体的方策の実践</li> <li>・生徒の実態に即した対応策の実践</li> </ul> <p>研究の見通し</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・T.T.授業、少人数指導の成果と評価のまとめをする。</li> <li>・個人の学習意欲を高めるため、指導方法、指導体制を工夫、改善する。</li> <li>・意欲を高めあう学級集団を形成するため、指導方法、指導体制を工夫、改善する。</li> </ul> <p>研究の内容・方法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・美術科のT.T.授業、数学科の少人数指導の実践</li> <li>・各教科の授業実践、教科の指導方法の工夫、改善</li> <li>・学級指導の工夫、改善</li> <li>・アンケート調査の分析と提言</li> </ul>
--------	--

(3) 研究推進体制

	教科研究部	指導研究部	調査研究部
研究内容(発足時)	意欲向上のための教科内での工夫 単元別到達目標の明確化の方法と、フィードバックの方法	学級担任から生徒への指導、支援を行うため、個人カルテを作成し、教科担任から学級担任へ渡す。	アンケートを実施し、生徒の実態の把握と今後の方向を明らかにする。1年後のデータも集める
職員構成	校長・進路担当・教科主任3名	教頭・学年主任1名・教科主任4名	学年主任2名・生徒指導担当・研修担当・教科主任2名
現在の取り組み内容	学習内容、学習進度を生徒・保護者に知らせるため、学年ごとに月別行事予定表に「学習の予定」を掲載する。 教科ごとに、現在行っている学習の点検表やふり返りの方法について、まとめる。	生徒の実態をふまえて、学習意欲を高め、集中して学習に取り組む習慣をつけるため、2クラスで、学活時に計算練習を実施し、帰宅後自宅でも同じ問題で行う。成果を検討し、今後の方策に活かす。	ベネッセ教育総研の行った「学力向上のための基本調査2003」の一部について本校でも全クラスで実施し、その結果の分析を行っている。

平成15年度の研究の成果及び今後の課題

1. 研究の成果

<p>(1) 教科研究部 教科ごとに学力観を整理し、意欲向上のための工夫、改善に取り組むことができた。</p> <p>(2) 指導研究部 指導研究部では、2クラスで、学活時に計算問題を実施した。その結果、実施した1クラスでは家庭学習の習慣がついてきていると思われる。</p> <p>(3) 調査研究部 調査研究部が行ったアンケート調査の結果、本校生徒の実態が明らかになってきた。 以下は、アンケートの中で、本校生徒の学習意欲をよく示していると思われる「自己学習力」についての結果を基にした生徒へのアドバイスである。</p>		
大分類	カテゴリー	生徒へのアドバイス
C「自己学習力」	1 学習スキル	間違えた問題をきちんとやり直しましょう。ノートをきちんと書きましょう。
	2 学習定着の方略	習ったことをそのまま覚えるのではなく、その理由や考え方も一緒に理解しましょう。新しく習ったことをくり返して練習しましょう。
	3 学習計画力	自分がどのくらい理解できているかが分かっています。計画的な勉強は心がけましょう。
	4 自宅学習習慣	学校が休みの日も自宅学習に取り組みましょう。自分から進んで勉強しましょう。宿題や復習にも、しっかり取り組みましょう。
<p>(4) 美術科のT.T.授業 美術科2年のT.T.授業では、授業者1名よりも生徒の把握が容易である。準備や「指示対応、指導の間隔を短くすることで、1時間の授業の中でも、メリハリのある展開ができるようになった。大部分の生徒が、座って授業に取り組めるようになってきた。</p> <p>(5) 数学科のT.T.授業と少人数授業 数学科1年の少人数指導では、1・2学期はT.T.による授業を行い、授業に向う姿勢づくりに重点を置いて取り組んできた。話を聞く姿勢など、一定の成果が認められたので、3学期からは、少人数指導に取り組んでいる。</p>		

## 2. 今後の課題

- (1) 教科研究部  
教科ごとに現在行っている学習の点検表やふり返りの方法についてまとめ、学力向上のための工夫、改善を進める。
- (2) 指導研究部  
指導研究部が行った計算練習の実施について、集中力がついたか 家庭学習の習慣がついたか、意識調査やアンケートを生徒と保護者に行い、その成果を今後の方策に生かしていきたい。
- (3) 調査研究部  
アンケート調査の分析結果から、授業での学習指導に生かしていく点 学級指導等の学校での取り組みに生かしていく点 家庭に呼びかけていく点、この3点について学力向上のための提案をまとめ、来年度の取組内容に引き継いでいく計画である。
- (4) 美術科のT.T.授業  
美術科の授業では、生徒が自ら制作活動の工夫を行い、技法を身に付け、作品を完成させる成就感、表現の楽しさを経験、体験させたい。そのための課題の設定と指導法の工夫を重ねていきたい。
- (5) 数学科の少人数指導  
数学科の少人数指導では、本年度はクラス分けを出席番号の偶数・奇数で分けたが、習熟度別のクラス編成を目指して取り組んでいきたい。また、少人数指導のための教室については、学習環境の改善が課題である。

### 学力等把握のための学校としての取組

生徒の実態把握のため、ベネッセ教育総研の了解を得て、ベネッセ教育総研が行った「学力向上のための基本調査 2003」の中から、一部（1「学びの基礎力」に関する設問、2「生きる力」に関する設問）について、平成15年10月に本校全生徒を対象にアンケートを実施した。そして、全国調査の結果との比較から、本校生徒の実態の把握を行った。  
平成16年度の2学期にも、再度同じ内容のアンケート調査を全生徒を対象に実施し、研究の取組の成果について検証する予定である。

### フロンティアスクールとしての研究成果の普及

研修会	平成15年度第2回高相管内指導方法改善研修会（中学校）
日時	平成16年1月30日（金）14：20～15：00
場所	高相合同庁舎 4階大会議室
対象	高相管内中学校教職員
会の目的	学力向上フロンティアスクール実践報告（中間報告）
説明会	実践研究報告会
日時	未定
場所	大和市立引地台中学校
対象	高相管内中学校教職員
会の目的	学力向上フロンティアスクール実践報告

次の項目ごとに、該当する箇所をチェックすること。(複数チェック可)

- 【新規校・継続校】       15年度からの新規校       14年度からの継続校
- 【学校規模】               3学級以下                       4～6学級  
                                  7～9学級                       10～12学級  
                                  13～15学級                    16学級以上
- 【指導体制】               少人数指導                       T・Tによる指導  
                                  その他
- 【研究教科】               国語                       社会                       数学                       理科  
                                  外国語                       音楽                       美術                       技術・家庭  
                                  保健体育                       その他
- 【指導方法の工夫改善に関わる加配の有無】       有       無